

指導案

授業者：岡田、布川、三坂

(1) テーマ 「葛藤」

(2) ねらい 葛藤を通して他者の意見を聞くことは、視野を広げたり、自分自身と向き合うために必要なものであるということに気づく。

(3) 展開

時間	学習内容	教師の支援 ・ 評価の観点
(5)	教師の朗読を聞き、ワークシートに自分の意見を記入する。	生徒が聞き取りやすいようにはっきりと発音しながら朗読する。 机間巡視をして、個別指導をする。 ・理由も含めて、自分の意見がしっかり書けているか。
(10)	賛成・反対に別れ、互いに意見を交換する。 一通り意見を交換したあと、自分の意見が変わった生徒は移動する。	黒板の前にスペースを作り、議論の場を準備しておく。 均等に分かれなない場合は、少数の意見に賛同し、意見を深められるような問いをする。 ・ほかの人の意見をきちんと聞いているか。 移動した生徒に理由を尋ねる。
(2)	議論後の自分の意見をワークシートに記入する。	友達の意見を聞いて思ったこと、納得したことも書くように支援する。 ・議論前の自分の意見と比べて、意見が深まっているか。
(3)	授業を振り返り、葛藤をすること、他者の意見を聞くことの必要性について考え、感想を書く。	葛藤をすること、他者の意見を聞くことは、自分の視野を広げたり、自分自身とより深く向き合うために必要なことだと、説明する。 ワークシートを集め、次回までにコメントを入れる。

別紙ワークシート掲載

引用資料 山岸明子『道徳性の発達に関する実証的・理論的研究』風間書房